

岡山県の地震 令和6年(2024年)8月

目 次

| | |
|---------------------------|-----|
| ○岡山県及びその周辺の地震活動（8月） | |
| 震央分布図及び断面図 | … 1 |
| 概 況 | … 1 |
| 岡山県において震度1以上を観測した地震の表 | … 2 |
| 岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図 | … 3 |
| ○地震防災メモ No.224 | |
| 日頃からの地震への備え ～建物の耐震化を進めよう～ | … 4 |

●「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。

●この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。

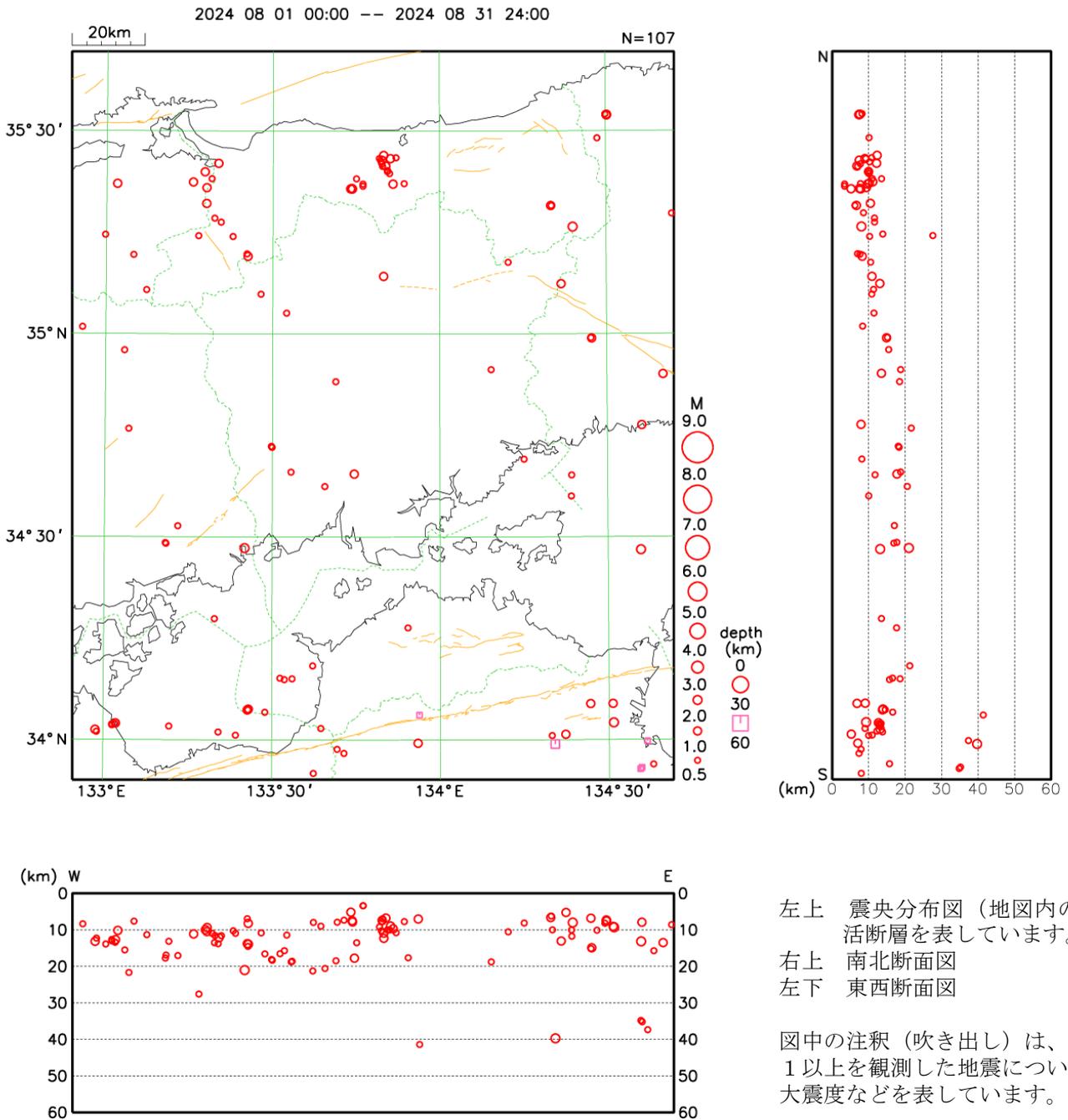
●本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(8月)

震央分布図及び断面図



概況

8月の概況

- ・ 8月に震度1以上の揺れが観測された、上図の範囲内の地震は0回 (前月: 5回) でした。
- ・ 岡山県で震度1以上の揺れが観測された地震は8月中は2回 (前月: 2回) あり、そのうち震央が上図の範囲内の地震は0回、範囲外の地震は2回でした。

岡山県において震度1以上を観測した地震の表(8月)

| | | | | |
|-------------------|---|--------------------------|------|------|
| 2024年08月08日16時42分 | 日向灘 | 31° 44.2' N 131° 43.3' E | 31km | M7.1 |
| ----- 地点震度 ----- | | | | |
| 岡山県 | 震度 2: 真庭市蒜山下福田*, 真庭市蒜山上福田*, 倉敷市児島小川町*, 倉敷市水島北幸町*, 倉敷市玉島阿賀崎*, 倉敷市船穂町*, 早島町前潟*, 岡山南区浦安南町* | | | |
| | 震度 1: 真庭市禾津*, 倉敷市新田, 倉敷市沖*, 倉敷市白楽町*, 倉敷市真備町*, 笠岡市笠岡*, 里庄町里見*, 矢掛町矢掛*, 瀬戸内市邑久町*, 瀬戸内市長船町*, 赤磐市上市, 浅口市天草公園, 浅口市寄島町*, 浅口市鴨方町*, 浅口市金光町*, 岡山中区浜*, 岡山東区瀬戸町*, 岡山東区西大寺南*, 岡山南区片岡* | | | |
| ----- | | | | |
| 2024年08月16日22時06分 | 兵庫県北方沖 | 36° 21.6' N 134° 48.1' E | 25km | M4.3 |
| ----- 地点震度 ----- | | | | |
| 岡山県 | 震度 1: 真庭市蒜山下和* | | | |

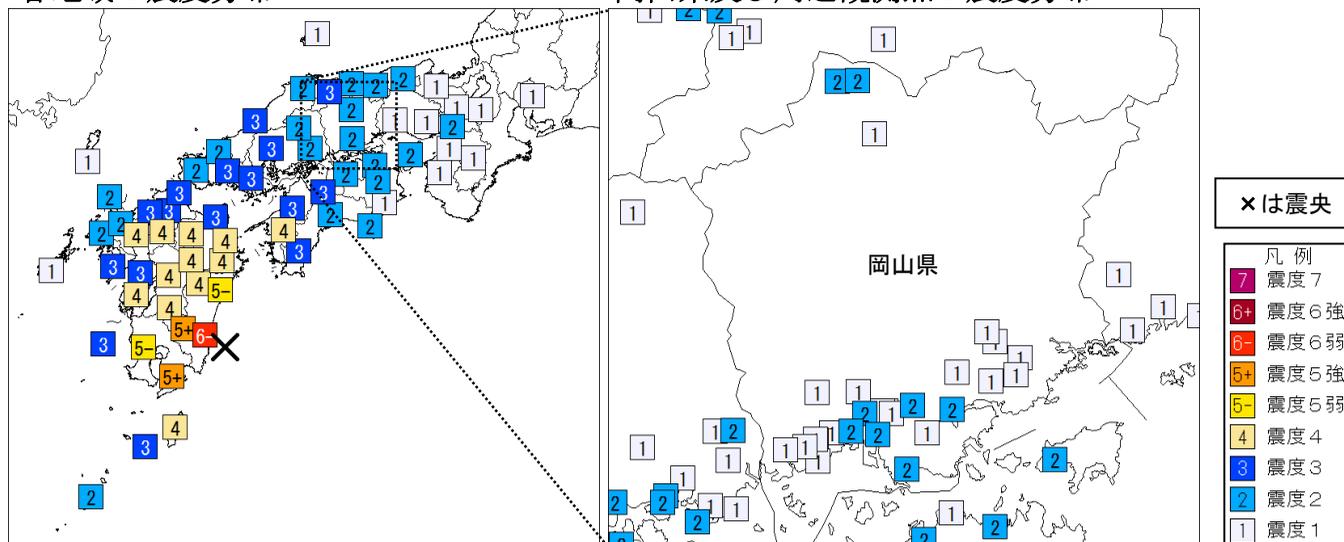
- 注) 1 内容は暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。
なお、地震データの確定値は『気象庁地震・火山月報(カタログ編)』に掲載されます。
- 2 地名に*印を付したものは、岡山県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。
なお、震度は気象庁震度階級表によるものです。

岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図(8月)

2024年8月8日16時42分 日向灘の地震

各地域の震度分布

岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

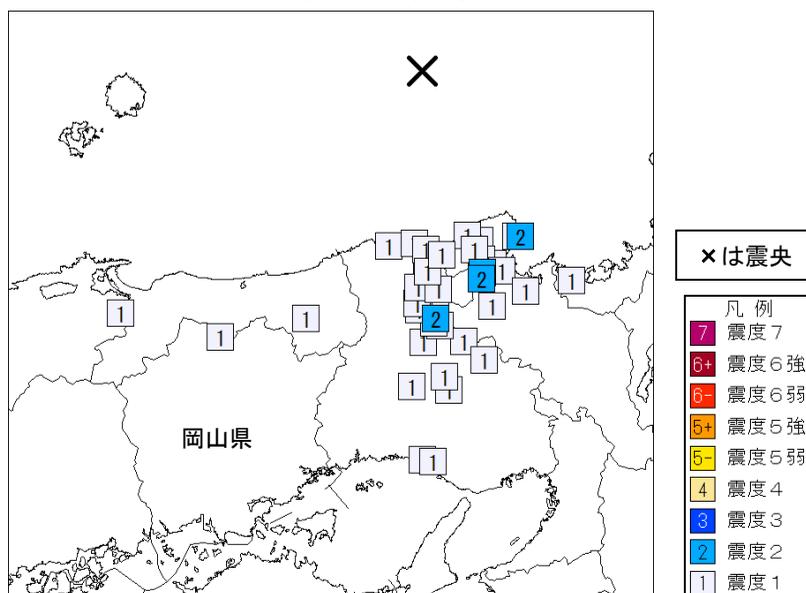
8日16時42分 日向灘の地震（深さ31km、M7.1）により、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海・近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度5強～1を観測しました。岡山県では真庭市、倉敷市、早島町、岡山市で震度2を観測し、笠岡市、里庄町、矢掛町ほかで震度1を観測しました。

また、この地震により、宮崎県の宮崎港（国土交通省港湾局）で最大51cmの津波を観測*したほか、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測しました。

*津波の高さは検潮所での高さです。観測値は後日の精査により変更される場合があります。

2024年8月16日22時06分 兵庫県北方沖の地震

岡山県及び周辺観測点の震度分布



<地震の概要>

16日22時06分 兵庫県北方沖の地震（深さ25km、M4.3）により、京都府伊根町・与謝野町、兵庫県朝来市で震度2を観測したほか、北陸・近畿・中国地方で震度1を観測しました。岡山県では真庭市で震度1を観測しました。

日頃からの地震への備え ～建物の耐震化を進めよう～

日本は世界有数の地震大国で、これまでに多くの地震や津波による災害を経験してきました。今年1月1日に石川県能登地方でマグニチュード7.6の地震が発生し、石川県輪島市と志賀町で最大震度7を観測したほか、能登地方の広い範囲で震度6弱以上の揺れを観測しました。激しい揺れによる住家被害が顕著で、全壊は6,273棟、半壊が20,892棟※にのぼり、倒壊した家屋の下敷きになるなどして多くの人命も奪われました。

先月8月8日には日向灘で地震が発生し、宮崎県日南市で最大震度6弱の揺れを観測しました。気象庁は「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」を発表(地震防災メモNo.223参照)するとともに、政府からは地震への備えを再確認するよう、特別な注意の呼びかけが1週間行われました。

我々は頻発する地震にどのように向き合えばよいのでしょうか。残念ながら現在の科学では地震を予知(いつ、どこで、地震の規模)できないのが現実です。平時のうちに地震に備えておくことが大切な命、財産を守る最善の手段と言えます。

(※ 令和6年8月21日消防庁調べ)

◆住宅・建築物の耐震化について

大地震から自らの生命・財産等を守るためには、住宅等の耐震化について、所有者一人ひとりが自らの問題として意識して取り組むことが重要です。

1981年以前の建物は、建築基準法に定める耐震基準が強化される前の「旧耐震基準」により、震度5強程度の地震に対しては建物が倒壊・崩壊しないように建築されていますが、耐震性が不十分なものが多く存在します。「新耐震基準」に改正された1981年以降は、震度6強～7程度の大規模地震で倒壊しない基準となりました。その後、1995年の阪神淡路大震災を受けた「2000年基準」では、さらに基準が強化され、これが現行の基準となっています。

まずは、耐震診断を実施し、自らの建物の耐震性を把握しましょう。そして、耐震診断の結果、耐震性が不十分であった場合は、耐震改修や建替えを検討しましょう。耐震診断や耐震改修には費用がかかりますが、国と地方公共団体では、協力して様々な支援制度を講じています。耐震改修等にあたっては、是非支援制度をご活用ください(地方公共団体の窓口にご相談するなどし、悪質なりフォーム工事詐欺に合わないよう十分にお気をつけください)。

岡山県ホームページ「耐震診断・耐震改修に関する補助制度について」

URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/detail-116632.html>

